

令和2年度

第2回定期監査
結果報告書

(令和2年12月執行分)

御殿場市監査委員

02御監第333号
令和3年1月19日

御殿場市長 若林洋平様

御殿場市監査委員 榊原敏彦
御殿場市監査委員 芹沢修治

定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、令和2年度第2回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

令和2年度第2回定期監査結果報告書

第1 監査の対象

支所等	御殿場地域振興センター、 富士岡支所、原里支所、玉穂支所、印野支所、高根支所
議会事務局	議事課
	会計課
消防本部	警防課

第2 監査の期間

令和2年11月25日から12月25日まで

第3 監査の範囲

令和2年4月1日から令和2年10月31日までの財務に関する事務事業の執行状況

第4 監査の方法

提出された監査書類による説明聴取及び関係諸帳簿の照合と施設の管理状況の実査

第5 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。指導事項についても、特に見受けられなかった。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。
また、執行率は99.95%～99.99%の場合99.9%としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。
「0.0」… 該当数値はあるが、表示単位未満のもの
「-」… 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの
「△」… マイナスのもの
- 5 歳出予算執行状況は、人件費を除いた数値である。

支 所 等

1 監査の対象

御殿場地域振興センター、富士岡支所、原里支所、玉穂支所、印野支所、高根支所

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

(1) 職員の状況

地域振興センター及び各支所は、所長(支所長)以下数名の職員が置かれ、地区振興スタッフにより組織されている。

地域振興センター及び各支所の職員の状況は、次のとおりである。

(単位:人)

区 分	職 員 数	会 計 年 度 任 用 職 員 数	計	備 考
御殿場地域振興センター	4 (0)	1	5	
富 士 岡 支 所	4 (0)	2	6	会計年度任用職員のうち1名は 半日勤務
原 里 支 所	5 (0)	1	6	
玉 穂 支 所	5 (0)	2	7	会計年度任用職員のうち1名は 半日勤務
印 野 支 所	4 (0)	1	5	
高 根 支 所	4 (0)	1	5	
合 計	26 (0)	8	34	

※職員数の()は、出産休暇や療養休暇等による長期休職者数(内数)

(2) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・戸籍・住民窓口事務(地域振興センターを除く5支所)
 - 市 民 課 業 務 : 戸籍、住民基本台帳、印鑑登録・印鑑証明、埋火葬及び改葬許可
 - 国保年金課業務 : 国民健康保険・国民年金の資格得喪
 - 税 務 課 業 務 : 市税の諸証明交付 等
- ・地域振興事業(各地域の自治、文化、体育、教育、福祉等の振興に係る事務)
- ・地区区長会、各種団体との連絡調整
- ・支所及び会館の維持管理と運営
- ・地域防災に関すること(地震、その他災害対策等緊急時の連絡調整)
- ・財産区に係る事務(富士岡支所を除く4支所及び地域振興センター)
- ・東富士演習場に係る事務(東富士演習場の土地賃貸借契約事務、調査及び連絡調整)

(3) 予算の執行状況

各支所の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

御殿場地域振興センター

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
繰 入 金	1,463,000	731,000	731,000	0	50.0	100.0

収入済額は、御殿場財産区繰入金(御殿場地域振興センター運営経費御殿場財産区繰入金(中間払分)) 731 千円である。

富士岡支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	171,000	52,890	70,700	△17,810	41.3	133.7
諸 収 入	28,000	8,781	8,781	0	31.4	100.0

収入済額の主なものは、富士岡振興会館使用料 71 千円である。

原里支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	70,000	22,090	22,090	0	31.6	100.0
繰 入 金	6,176,000	2,836,000	2,836,000	0	45.9	100.0
諸 収 入	132,000	76,516	76,516	0	58.0	100.0

収入済額の主なものは、原里財産区特別会計繰入金(原里愛郷会館維持管理費等原里財産区繰入金(中間払分)) 2,836 千円である。

玉穂支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	260,000	95,220	116,720	△21,500	44.9	122.6
繰 入 金	18,257,000	8,714,000	8,714,000	0	47.7	100.0
諸 収 入	173,000	81,724	81,724	0	47.2	100.0

収入済額の主なものは、玉穂財産区特別会計繰入金(玉穂報徳会館維持管理費等玉穂財産区繰入金(中間払分)) 8,714 千円である。

印野支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	100,000	0	1,440	△1,440	1.4	-
繰 入 金	6,863,000	3,263,000	3,263,000	0	47.5	100.0
諸 収 入	60,000	46,983	35,341	11,642	58.9	75.2

収入済額の主なものは、印野財産区特別会計繰入金 3,263 千円(印野振興会館維持管理費等印野財産区繰入金(中間払分)等)である。

高根支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	140,000	2,950	17,570	△14,620	12.6	595.6
繰 入 金	5,237,000	2,266,000	2,266,000	0	43.3	100.0
諸 収 入	144,000	32,231	32,231	0	22.4	100.0

収入済額の主なものは、高根財産区特別会計繰入金(高根団体会館維持管理費等高根財産区繰入金(中間払分)) 2,266 千円である。

イ 歳出予算執行状況(目別)

御殿場地域振興センターの歳出は会計年度任用職員の雇用経費のみであり、富士岡支所に一元管理されているため、記載を省略した。

富士岡支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	21,428,000	10,127,869	11,300,131	47.3

富士岡支所は、支所運営経費(地域振興センター及び各支所会計年度任用職員の報酬、職員手当等一期末手当、共済費-社会保険料)を一元管理している。

報酬は予算現額 11,384 千円、支出済額 5,760 千円、支出率 50.6%であり、職員手当等一期末手当は予算現額 2,400 千円、支出済額 1,197 千円、支出率 49.9%であり、共済費-社会保険料は予算現額 2,104 千円、支出済額 832 千円、支出率 39.6%である。

支所運営経費を除く支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費-光熱水費 820 千円、委託料 503 千円である。

原里支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	7,319,000	2,799,345	4,519,655	38.2

支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費-光熱水費 1,688 千円、委託料 629 千円である。

玉穂支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	19,732,000	5,619,423	14,112,577	28.5

玉穂支所は、庁舎管理費の使用料及び賃借料－土地借上料で玉穂支所用地土地借上料を計上している。予算現額 7,034 千円、未執行である。

土地借上料を除く支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費－光熱水費 2,252 千円、委託料 2,028 千円である。

印野支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	7,321,000	2,644,295	4,676,705	36.1

支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費－光熱水費 1,353 千円、委託料 994 千円である。

高根支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	6,104,000	2,113,395	3,990,605	34.6

支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費－光熱水費 1,147 千円、委託料 717 千円である。

(4) 窓口事務の状況及び窓口現金の取り扱いについて

各支所の窓口事務の状況は、次のとおりである。

※御殿場地域振興センターは窓口事務を取り扱っていないため、記載を省略した。

(単位:件・円)

	証 明 関 係						税 務 関 係		異 動 関 係		斎 場 使 用 料		合 計		
	戸 籍 関 係	住 民 関 係	諸 証 明	印 鑑 関 係	広 域 関 係	小 計		件 数	金 額	住 民 異 動 関 係	戸 籍 届 出 関 係	件 数	金 額	件 数	金 額
						件 数	金 額								
富士岡	838	2,029	19	1,737	39	4,662	1,601,650	1,443	277,730	280	54	55	324,000	6,494	2,203,380
原 里	505	1,395	33	1,325	22	3,280	1,104,950	909	212,780	147	20	19	124,000	4,375	1,441,730
玉 穂	464	1,274	21	890	6	2,655	900,750	674	152,100	125	58	64	420,000	3,576	1,472,850
印 野	163	291	3	669	5	1,131	383,000	139	31,030	26	13	10	40,000	1,319	454,030
高 根	281	571	26	602	3	1,483	515,400	504	86,000	18	7	10	58,000	2,022	659,400
計	2,251	5,560	102	5,223	75	13,211	4,505,750	3,669	759,640	596	152	158	966,000	17,786	6,231,390

※証明関係の件数は無料分・公用分を含む。税務関係は筆ごとに1件とする。

また各支所は、市民課から窓口事務に係る釣銭資金として各 50,000 円を配分されている。この管理状況について聴取を行い、計数を実査した結果、適正に処理されていた。

各支所の地区集会施設使用料の収入状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	富士岡支所	原里支所	玉穂支所	印野支所	高根支所
使 用 料	70,700	21,860	110,840	1,440	14,620

(5) 郵券等の管理について

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

(6) 意見・要望事項

- ア 各支所窓口で取扱う手数料及び使用料等の公金について、適切に処理されていた。引き続き適正に管理されたい。
- イ 地区民の高齢化、中年層の転出、共働き世帯の増加等により、役員の担い手不足が生じている。そのため、各種団体の事務を支所職員が担当せざるを得ない状態が続いており、事務の移管がなかなか進まない。自主運営の方法や省力化について支所間で情報交換などを行い、職員の負担軽減に引き続き取り組まれない。
- ウ 支所によっては戸籍・住民窓口事務が集中し、他の業務への影響が出ているところもある。窓口事務の経験のある職員の配置や、緊急時の応援態勢を整える等の配慮を要望する。

議会事務局

1 監査の対象

議事課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

議事課

当課は、課長以下 5 人で、議事・調査スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・本会議事務
- ・議会だより編集事務
- ・全員協議会関係事務
- ・議事録作成事務
- ・三常任委員会事務
- ・議会運営委員会事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
諸 収 入	714,000	714,000	714,000	0	100.0	100.0

収入済額は、議会ICT化推進事業タブレット端末使用料(議員分) 504 千円、議会改革活動負担金(議員分) 210 千円である。

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支出率
議 会 費	23,531,000	9,959,136	13,571,864	42.3

※人件費を除く

事業別の執行状況は、議会活動経費(予算現額 12,927 千円、支出済額 6,519 千円、支出率 50.4%)、会議録作成費(予算現額 2,711 千円、支出済額 867 千円、支出率 32.0%)、議会広報費(予

算現額 2,528 千円、支出済額 1,060 千円、支出率 41.9%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、議会活動経費の委託料 2,737 千円、負担金補助及び交付金 2,541 千円、会議録作成費の委託料 1,613 千円、議会広報費の需用費－印刷製本費 1,468 千円である。

(3)前渡資金出納状況

前渡資金の出納状況については、例月現金出納検査(一般・特別会計)の帳票検査に合わせて関係帳簿等の確認を実施しており、適正に処理されていた。

前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前渡資金額	精算額	返納額	未精算額
議 長 交 際 費	300,000	5,000	0	295,000
有料道路通行料(ETC)	130,000	8,350	0	121,650

(4)意見・要望事項

- ア 令和2年2月に議員の改選があった。市民の代表者として市民の信頼を損ねることがないように、引き続き質の高い議会運営に努められたい。
- イ 明治大学とのパートナーシップ協定に基づき、情報交換、相互研修を行っているが、若者プロジェクト等も含め、引き続き議会改革を進められたい。
- ウ 政務活動費交付金について、他市町では不正につながっている事例が多々見受けられる。引き続き厳正な処理を行い、透明性の確保に努められたい。

会計課

1 監査の対象

会計課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

会計課

当課は、課長以下 9 人(うち会計年度任用職員 2 人)で、会計スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・現金の保管・収納・支払事務
- ・支出負担行為票・支出命令票審査事務
- ・決算の調整に関する事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
分担金及び負担金	3,659,000	0	0	0	-	-
繰 入 金	180,000	0	0	0	-	-
諸 収 入	70,000	80,756	80,756	0	115.4	100.0

収入済額は、歳計金預金利子 81 千円である。

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	予算残額	支出率
会 計 管 理 費	10,464,000	3,842,439	6,621,561	36.7

事業別の執行状況は、会計管理事務諸経費(予算現額 10,464 千円、支出済額 3,842 千円、支出率 36.7%)で、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、会計管理事務諸経費の役務費—手数料 2,482 千円、報酬 1,859 千円である。

(3) 前渡資金出納状況

前渡資金について通帳、関係帳簿等を照合した結果、計数は一致し適正に処理されていた。

前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前 渡 資 金 額	精 算 額	未 精 算 額
水道料金口座振替	32,694,081	14,497,210	18,196,871
電気料金口座振替	129,559,135	84,577,673	44,981,462
電話料金口座振替	26,773,533	14,648,263	12,125,270

(4) 意見・要望事項

ア 公金の支払い方法について、メガバンクでの口座振替、クレジット決済、キャッシュレス決済等の要望があるようだが、導入にあたっては費用対効果等を慎重に検討し、収納率向上につなげてほしい。

消防本部

1 監査の対象

警防課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

警防課

当課は、課長以下 6 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、消防防災スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・御殿場市消防団に関すること
(消防団活動事業、消防団施設維持管理業務、消防団車両整備事業、消防団活性化対策事業、消防操法大会出場事業 等)
- ・耐震性貯水槽設置及び消火栓整備事業
(40 m³耐震性貯水槽設置事業、水道管の布設及び布設替に伴う消火栓の新設・移設事業)

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
県 支 出 金	137,000	204,452	204,452	0	149.2	100.0
繰 入 金	17,337,000	15,290,000	14,437,000	853,000	83.3	94.4
諸 収 入	11,881,000	555,000	555,000	0	4.7	100.0

収入済額の主なものは、5財産区特別会計繰入金 14,437 千円(消防団第1～5分団運営事業助成補助金等)である。

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
非 常 備 消 防 費	72,020,000	28,426,027	28,993,973	39.5
消 防 施 設 費	8,871,000	976,208	3,212,792	11.0

※人件費を除く

事業別の執行状況は、消防団施設等管理費(予算現額 19,711 千円、支出済額 6,835 千円、執行率 34.7%)、消防団運営事業(予算現額 20,044 千円、支出済額 19,869 千円、執行率 99.1%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、消防団員退職報償金の報償費 14,575 千円、消防団活動事業の旅費 7,889 千円、消防団施設等管理費の修繕料 8,475 千円である。

(3) 郵券等の管理について

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

(4) 意見・要望事項

ア 消防団員の確保については、全国的にも厳しい状況と伺っている。報酬の引き上げ等で対応を図ったとのことだが、引き続き、防災力向上のため団員の確保に努められたい。

イ 平成29年3月の道路交通法の改正により免許制度が改正された。それにより、普通免許では現在の消防車両(4.98t)が運転できなくなり準中型免許を取得する必要性が生じるため、今後の購入車両は普通免許で運転できる3.5tを購入するとのことであった。

消防車両の更新については、財政状況等を考慮しながら、計画的な更新に努められたい。

ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるよう、引き続き指導されたい。

また交付にあたっては、地域的な不均衡が生じないように努められたい。